

第 8 回大阪市空家等対策協議会の主な意見

空家利活用補助について

- ・耐震補強は工事費の負担がかかるため補助率をあげたり、前面道路の幅員の要件を緩和する等、補助金活用の門戸を広げてほしい。

密集市街地の除却費補助について

- ・今後、市内のその他の地域の空家へと広げないのか。

空家等対策の推進に係る協定について

- ・まず団体のほうに空家情報を提供し提案してもらおうスキームであるが、所有者側からすると意向もないのに勝手に提案された等のトラブルになるのでは。
- ・情報の提供量が少ない。空家を持っておられる所有者の方へのある程度の打診を踏まえてから情報をいただくほうがよい。

危険度 1 の特定空家等への対策について

- ・第三者に危害を及ぼすものに関しては、危険度が 1 であっても、もう少し力を入れる方向で今後検討してもいいのではないか。
- ・危険度 1 でも第三者に危害を及ぼすおそれがあるかないかというのは、きちんと数を取られたほうがいい。

商店街支援について

- ・再生の必要がある商店街については、商店街の状況に応じた支援策を検討してほしい。

計画全般について

- ・まちづくりを視野にした対策というのは考えていかないのか。
- ・空家、特定空家は区・地域によりばらつきがあるので、区で、モデル事業を発案・実行していくよう区長会にお願いしたい。効果のあるものを全市展開してほしい。
- ・住之江区の成果がある取組を、早い段階で各区民あるいは大阪市民に説明してほしい。
- ・物件を持たれている方が一步踏み出せるよう、取組の市民周知が必要。
- ・特定空家等の段階的な指導の強化をお願いしたい。
- ・民間事業者のメリットにもなるよう、意見を取り入れ、よりよい制度につなげていただきたい。民間活力の活用を強化していただきたい。